

## 郷土碑文巡り

(三)

## 西野・日露戦役記念の碑

会員 山 本 保

得利守占領  
遼陽占領  
沙河大会戦敗兵死傷七万人余  
旅順二〇三高地占領

十月十七日  
十一月廿九日  
一月一日  
三月十日  
五月廿七日  
七月廿五日  
八月五日  
十月十六日

旅順敗兵降伏  
奉天占領

日本海大海戦  
樺太首府占領

日露兩國講和全權委員接見  
日露講和条約成立記念調印

平和克服詔勅

六月十五日  
九月四日  
八月五日  
十月十七日  
十一月廿九日  
一月一日  
三月十日  
五月廿七日  
七月廿五日  
八月五日  
十月十六日

佐伯市西野区の真中を通つてある市道の一隅に、次の  
ようす石碑が、静かに、佇んでいます。  
(碑面の文字)

## 日露戦役記念碑

(向って右側面)

明治三十七年

日露開戦

仁川開戦

宣城大詔発

陸軍第一軍会戦

鶴ヶ瀬河九連城占領

全州城占領 直隸南山激戦

四月廿九日  
五月一日  
五月廿六日  
六月廿二日  
八月八日

(向って左側面)

明治四十一年二月当部壯丁組建設

佐伯町石工

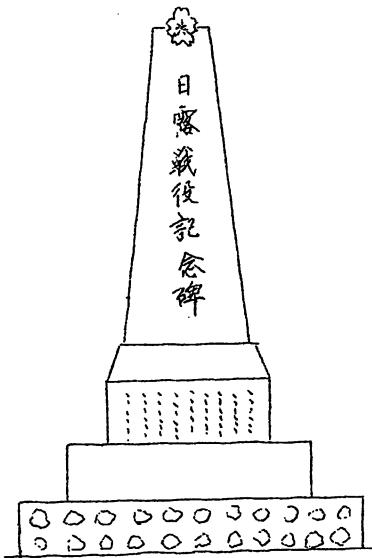
全林 太一  
作達

尚、台石には出征軍士 歩兵軍曹士等 足田勝太郎  
以下十四名の方々の名前が刻みこまれています。

明治三十八八年、わが國とロシアとの間で、戦争が  
行なわれました。

帝政ロシアと東亜の制覇を争つ支那は、明治三十七年  
二月国交断絶以来、同年八月以来旅順攻囲、三十八年  
三月の奉天大会戦、同年五月の日本海海戦など、わが國  
の勝利を経て、三十八年八月第三十四代アメリカ大統領  
ルーズベルトの斡旋により、ボーツマス(アメリカ合衆国内)  
於て休戦条約が成立しました。

明治三十八年十月十六日講和条約が交付されましたが、  
これにより、



西野・日露戦役記念碑

(佐伯市大字西野)

(一) わが国は、韓國において政治・軍事・経済上、優越権を有すること。

(二) ロシヤは滿州から撤退し、旅順・大連付近の租借地及び長春・旅順間の鐵道をわが國に譲渡し、かつ、北緯五十度以南の権利を割譲すること。

以上より権利を獲得しました。

他方、奉天大会議の三月十日が陸軍記念日となり、日本海戦ノ七月廿七日が海軍記念日となり、「鐵友」、「支那軍神底顛中佐ノ歌」、「水師營の会見」などの軍歌を作られ、唱われて、時代に流れていました。明治四十年の日露漁業条約、大正六年のロシア革命、そして昭和三年の日ソ漁業条約も、太平洋戦争により、その効力を事実上失いました。

昭和二十年八月、ソビエトは千島を「軍事占領」、翌年二月ハバロフスク地方に編入して、ロシヤ共和国の構成下におきました。

更に、昭和二十三年カラフト及び千島と、ハバロフスク地方より分離させて、サハリン州と改称しました。ソ連の「極東諸島圖説」によれば、北方四島を含む千島を、ソ連固有の領土として、「極東の真珠」ととてたる文章が發表されていました。昭和二十六年サンフランシスコ講和条約成立、そして昭和三十一年日ソ国交回復が行なわれましたが、日本漁民が血と汗で開拓した北洋漁場は、「どちらでもらう」立場へ逆転し、年々、不利な条件に追いつまれています。そして、二百海里問題が追加討古をかけています。本年十一月ソ連業協定交渉は、サケ・マヌ資源維持など、難行を続けています。(四月十日現在)

## 紹介

○ 史談会の購入図書・受贈雑誌・受託資料等の貸出について  
へ 事務局より  
の進歩に不可欠の本へ貸出

### ○ 大分県の歴史

- (1) ふるさと誕生(賀川光夫)  
○ 貸出
- (2) 宇佐ハ備と石松(自由民權の波(富永隆))  
○ 貸出
- (3) 大友族と三豊武士団(小藩分立)  
○ 貸出
- (4) 古代大分合戸新開社奉行のもので、尚續刊・大分県の歴史の定本ともいふべきもの(貸出)

○ 大分県の金行事と盆踊り(取手市)金が近づいた。盆踊りと信仰行事についてまた説き、草地踊りと鶴舞踊りと從に細介し、それに盆踊り口説と三千二編のせている。ところの盆踊事を指導する方にはよほ手堅書である。(貸出)

### ○ 薄刻白井史談

#### 第一卷・第二卷 到着

白井史談の複刻版であるが地元郷土史の権威が、今井地方の文獻・文獻・人物・民俗・藩政史・文芸などについて広範囲に収録している。

### 受贈雑誌

#### ○ 大分県地方史

- 豊日文庫 ○ 白井史談
- 落穂(大割研究会)

#### ○ 直川史談

- 県立図書館の館報
- 今月のバス大分府内城の研究

#### ○ 県立図書館の館報

右の外、神野氏の写真集、和吉だけ、その累積は大したものである。ところは久多羅木生堂の書かれたものが多いく。

佐伯史談より三十年の轍筆(だけ)、その累積は大したものである。ところは久多羅木生堂の書かれたものが多いく。

### ○ フロイスの日本史 四巻

佐賀民寄託本と、羽柴義久の書かれたものが多いく。

#### ○ 土地歴史小説

正刀鏡(東京御手洗而著)の本一、八〇〇円。(取扱い)